

青梅街道を歩く③桜街道駅～河辺駅

開催日：2024年10月19日（土） 晴れのち曇り やや健脚 2万8000歩 約16Km

集合：多摩モノレール桜街道駅 10時

コース：桜街道駅→武蔵村山市入り→大南公園→プリンスの丘広場→伊奈平橋→上砂橋→残堀地区→岸・貝塚の馬頭観音→瑞穂町入り→ジョイフルホンダ（昼食）→一本榎→旧日光街道交差点→圓福寺→八高線青梅街道踏切→東善院→青梅市入り→桜株広場→旧吉野家住宅→青梅新町の大井戸→鈴法寺跡の公園→野上交差点→住宅街小道→河辺駅北口交差点→青梅線河辺駅

参加者：熊坂L 飯倉SL 勅使川原 平山 清水 市村 小田 奥村 山田 畠 高橋友 脇坂 山口 高津佐 14名

青梅街道を歩く③は、多摩モノレール桜街道駅から青梅街道4番目の宿場町箱根ヶ崎宿を経て青梅線河辺駅までのコース。自治体では東から西へ、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町、青梅市を歩きます。晴れのち曇り、少し雨がぱらつく時間もありました。

今回は「江戸街道」という標識などを多く見ました。上砂橋近くの標柱に「市内を東西に通る江戸街道は『原江戸街道』『新江戸街道』とも呼ばれ、江戸城改修の資材である青梅の石灰や奥多摩の木材を運ぶために作られたとされている。この街道は小川村（小平市）の新田開発にも関与し、また青梅から御嶽の裾を通過して甲州（山梨県）に抜ける重要な街道であり、御嶽山への代参道としても利用されていた。また街道沿いには桜が植えられ、明治・大正時代に花見でにぎわったことから『桜街道』とも呼ばれた」と記されていました。道は時代時代でいろいろな役割を持ち変遷してきました。「街道は、日産自動車（現在はイオンモール）や横田基地などのため分断されてしまっている。なるべく旧道に近い道や江戸街道という道を歩きます」とリーダーの説明がありましたが、青梅街道の変遷を辿るウォーキングでもありました。



桜街道駅10時10分～青梅街道を西へ～武蔵村山市入り～大南公園

朝5時、西の空にほぼ満月の大きな月が見えました。今年の地球と月が一番近づくのは10月17日、一番大きく見える満月は17日の20時26分でした。立川駅の改札を出たら色とりどりの大学の幟が林立、箱根大学駅伝の予選会が立川で行われる日でした。多摩モノレールに乗り、集合場所の桜街道駅で下車。次発のモノレールが来ましたので写真を一枚、モノレールは、この辺りでは芋窪街道の上を走っています。改札前の空きスペースで熊坂リーダーがコース説明、10時10分にスタート。青梅街道を西に進み10分ほど「大南」の住所表示、東大和市から武蔵村山市に入りました。大南公園に到着、ここでストレッチです。



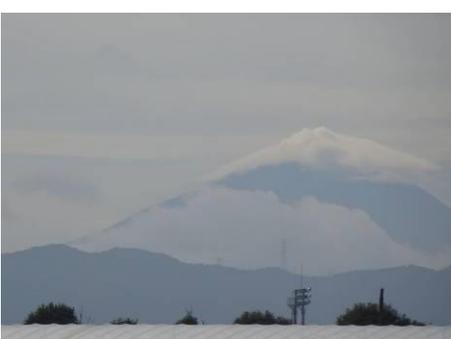
大南公園～江戸街道(旧青梅街道)～プリンスの丘広場～伊奈平橋

整備された花壇の花が目を楽しませてくれます。公園の外れに「防災都市武蔵村山市」の標示板があり、北に青梅街道、真ん中に新青梅街道が東西に走っています。旧青梅街道はその南側を西に伸びていました。「旧道は分断されてしまっていて、なるべく旧道に近い道や、江戸街道という道を歩きます」(リーダー)とのこと。その江戸街道の標識が出て来て榎交差点へ。この先はイオンモールの敷地で街道が分断されています。迂回をしてプリンスの丘広場へ、冷たいゼリーの差し入れで喉を潤して小休憩。西の方に奥多摩の山並みが見えます。ここからも迂回をして旧街道を辿ります。11時25分、残堀川に架かる伊奈平橋に出ました。



イオンモールの反対側へ～上砂橋～残堀地区～岸・貝塚の馬頭観音

迂回をしてイオンモールの反対側に出て再び西へ、残堀川に架かる上砂橋を渡ります。江戸街道の標柱が出て来て「むさしむらやま歴史散策南西コース」と書かれていました。「残堀」地区を歩いています。民家の庭先の円筒に刈り込まれたキンモクセイの香りが漂ってきました。その先、今度はバナナの花が出現。南西の方向に雲を被った富士山が見えます。時刻は12時丁度、空き地で小休憩です。グリーンタウン南の交差点を右に、岸・貝塚の馬頭観音へ着きました。標柱に「この馬頭観音は道標を兼ねており、もとは江戸街道沿いに南東向きで建てられていたものを、昭和初期に現在地へ移したと伝えられている」と書かれています。



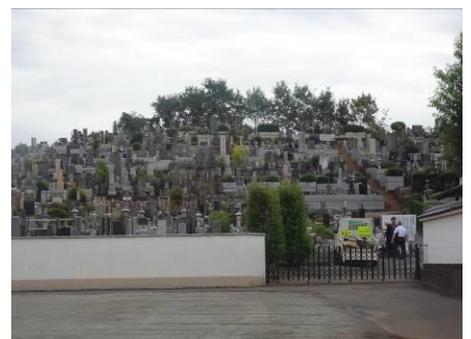
瑞穂町入り～12時25分 ジョイフルホンダで昼食タイム～一本榎

昼食場所のジョイフルホンダ瑞穂店をめざします。中原公園の前を通って、少し進むとジョイフルホンダの建物が見えてきました。住居表示は瑞穂町殿ヶ谷、武蔵村山市から瑞穂町に入りました。12時25分、ジョイフルホンダに着きました。2階が広いフードコート、大手フード店がたくさん入っていて家族連れなどで賑わっています。私は「長崎ちゃんぽんリンガーハット」のピリ辛皿うどんを頂きました。13時10分、午後のスタート。少し曇ってきました。少し歩いたところに「江戸街道」の標識があり、塚になっているところに大きな一本榎、その前に庚申塔が建っています。横一列に並んで集合写真を撮ります。



新青梅街道～旧日光街道交差点～青梅街道～13時50分 圓福寺

一本榎を出て10分ほどで新青梅街道に出ました。新青梅街道を横切って住宅街の道に入り進むこと15分、旧日光街道交差点へ。「創業明治五年漢方の會田」の看板を掲げた歴史を感じさせてくれる建物、存在感があります。この辺りが青梅街道4番目の宿場町箱根ヶ崎宿だったようです。左折して青梅街道を西に歩き13時50分、臨濟宗圓福寺へ。仁王門両脇の赤銅色の仁王像が出迎えてくれました。境内に入ると本堂前に蓮甕が並んでいて、みなさんなにやらのぞき込んでいます。蓮甕の中にメダカや金魚などが泳いでいました。境内には鐘樓堂があり、境内外の小高いところが墓地のようで墓石が並んでいました。



八高線青梅街道踏切～箱根崎駅駅舎～14時25分 東善院

円福寺前の住居表示は瑞穂町箱根崎、青梅街道を5分ほど歩くとJR八高線の青梅街道踏切が出てきました。踏切を渡ると左側奥にかまぼこ型の箱根崎駅駅舎が見えました。風が少し出てきて天候は曇り、暑さが大分和らぎました。岩蔵街道を横切って少し進むと、ハナミズキの葉が紅葉して赤い実をつけていました。道路標識を見ると、進行方向は青梅、左は八王子・拝島方面、右は川越・入間方面となっています。長岡地区に入り14時25分、曹洞宗東善院に着きました。境内に北向地蔵尊が祀られています。北方向は青梅街道、旅人を見守っていたのでしょうか。水分補給をして小休憩です。



東善院～青梅街道～青梅市入り～15時25分 桜株広場

東善院を出て再び青梅街道へ出ます。青梅新町境の交差点手前で雨がパラつき始めたので、傘を差し始めました。交差点先に「青梅市」の標識板、瑞穂町から青梅市入りです。傘をさして歩くこと15分ほど、雨が上がりました。ガソリンスタンドの電光版が、レギュラー160円、ハイオク171円のガソリン価格を表示しています。道路標識を見ると、進行方向は奥多摩・青梅市街、左は青梅線小作駅方面、右は藤橋方面です。15時25分、藤橋・小作道路と交差するところの桜株広場へ到着。公園の中央に桜の木があり、幹の本数を数えたら9本ありました。甘いお菓子の差し入れがあり、ベンチに座って休憩です。



旧吉野家住宅～青梅新町の大井戸～16時10分 鈴法寺跡の公園

桜株広場を出て臨済宗東禅寺前を通り、旧吉野家住宅へ。吉野家は、新田開発をして集落を作った吉野織部之介の住宅。茅葺入母屋造りで整形六つ間型、向かって右側は台所、隣接する勝手は板の間で囲炉裏が切られています。左手奥の部屋は床・違い棚・附書院完備し玄関には式台がついています。庭には井戸が残っていました。縁側に座って集合写真を撮影。裏から出て少し歩き、すり鉢状に大きな穴を掘った青梅新町の大井戸へ。新町地区は武蔵野台地の中央部にあって飲料水や農業用水の確保に難しく、吉野織部之介が開拓の着手として井戸を掘りました。蚊に悩まされた大井戸を出て16時10分、鈴法寺跡の公園に着きました。



野上交差点～住宅街小道～河辺駅北口交差点～16時50分 河辺駅

説明板に「鈴法（れいほう）寺は、普化（ふけ）宗総本寺の一つ。普化宗は中国の唐代に成立した宗派の一派で宗徒が虚無僧の姿をしていることで有名です。明治4年の普化宗廃止まで栄え、現在は歴代住持の墓が残るにすぎません」と書かれていました。クールダウンをして16時20分、ゴールの河辺駅をめざしまして青梅街道を西へ。ところが野上交差点で右折して河辺駅と反対方向へ、「なるべく旧道に近い道歩いている」（リーダー）とのことで今度は左の住宅街小道へ入ります。いなげやがある四つ角へ、次回はここから「青梅街道を歩く」再開です。左折してあとは一直線、河辺駅北口交差点を通過。16時50分、少し薄暗くなった河辺駅に到着。歩数2万8000歩、距離16Km、歩きがいのあるやや健脚コースでした。

